

君想う、故に我在り

BIGMAMA

たった一言の伝え方次第で、

僕らは求め合い、傷つけ合う。

秋の前に付く言葉といえば食欲や芸術、読書などさまざまなものがある。どれを取っても秋を彩り豊かにしてくれる素晴らしいものだが、その中でも今年は音楽に没頭してみるのはいかがだろうか？ そのきっかけとして今回紹介するのはBIGMAMAの『君想う、故に我在り』というアルバムである。

BIGMAMAはヴォーカル&ギターの金井政人を中心とした5人組のロックバンドであり、ほとんどの楽曲の作詞作曲を金井が行っている。バンドでは珍しいヴァイオリンというパートが作り出す美しいバラードからエレキギターの轟音が響く激しいロックチューンまで、多種多様なサウンドを奏でており、バンドシーンでも異彩を放つ存在だ。その珍しい編成から「ロックとクラシックの融合」と称されることもよくある。また、このような美しいサウンドの他にユニークで面白い歌詞もBIGMAMAの魅力だ。嘘を塗り重ねていく女性をファンデーションの塗りすぎだと皮肉ったものや、『枕草子』の冒頭を現代風にアレンジした失恋ソングまである。

そんなバンドが作ったこの『君想う、故に我在り』。一曲一曲におけるメッセージと同時にアルバム一枚を通して「君という存在」がひとつの大きなテーマとして描かれている。リスナーである「君」こそが金井にとっての存在証明であること、彼が必死にその存在証明に寄り添おうとする姿勢……。彼にとっては私たちリスナーのことである「君」に焦点を当てた物語が音と言葉で紡がれていく。紡がれた物語には金井の人となりがよく表れている。クライマックスに向かうほど切なくなっていきあたりはまさに金井政人そのものだ。しかし、そんな切ない物語でも聴き終わった後に何故かじんわりと人の体温が感じられることだろう。それこそがこのアルバムの魅力であり、このアルバムの全てであろう。

BIGMAMAの、そして金井政人という人間のすべてが詰まったこのマスターピース。「そんな大げさな」と思う人もたまされたと思って聴いてみてほしい。このアルバムであなたの人生観は大きく変わるかもしれない。(勿忘)



定価：2,940円
品番：RX-070
レーベル：RX-RECORDS

『君想う、故に我在り』 BIGMAMA

- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| 01. awasekagami | 07. Not too late |
| 02. 君想う、故に我在り | 08. auctioMania |
| 03. 春は風のように | 09. ex-extra |
| 04. ファンデーション | 10. 俯瞰show |
| 05. RAINBOW | 11. Jeffrey Campbellのスケートシューズで |
| 06. Mr.&Mrs. Balloon | 12. ライフ・イズ・ミルフィーユ |